



原町通信

郵便取扱所開始

相馬郡飯豊村郵便局取扱所は愈々廿一日より同村役場に開業した。同所長は元収入役であつた青田武右衛門氏である。

優良團表彰

二十二日青年團令旨奉戴十周年記念式を挙行し其際優良男女青年團及指導員を表彰する筈にて全縣下より嚴選された三青年團及び指導員十名の内相馬郡では大斐村青年團と飯豊村佐々木清氏である。

旭座便り

相馬郡原町日蓮宗信者一同主催で二十、二十一の兩夜旭座にて日蓮上人一代記活動寫眞を催し外に五大本山。雲母坂其他を上演し大盛況であつた。

賣淫考

(上) 作田 清

資本主義の發達に伴ひては賣淫行為にまで及ぼし、資本家化し、企業化し、職主なる仲間の搾取階級が存在し、前借なる名義の下に賣淫婦は必要以外の労働を強ひられつゝ、あるのが現今の公認賣淫制度である。斯くして前借金と追借金に自由を束縛されつゝ、客の性的要求以外雇主の資本に對して同時に高價なる支拂ひを要求されつゝあるのが彼の女等である。内面である。雇主對公娼、それは資本家に對する労働考に異ならぬとするも、人間として自由と權利を剝奪され、加ふるにこの醜行を敢て爲さねばならぬに至つては、實に言語同断である云はねばならぬ。人權の尊重も廢業の自由もなく、あるとするも周圍のトリックに疎止されて人身的ながら奴隷のものであり人身

賣買を地で行くものであつて沙汰の限りである云はねばならぬ。以下少しく賣淫制度に對する方策に就て一言申述べてみたい。一、搾取制度の撤廢 前述するが如く現今制度の根本を爲す賣淫業は眞實は人身賣買を敢行し、前借に不當なる利得を貪りつゝあるものであつて、娼妓は醜はしき貞操の代價として、僅にその利得の幾分かを收得するに過ぎぬのであり、實に悲惨の極である。依つて雇主よりの前借制度を改善し、雇主は單に房屋を貸與するに止めしめること共に遊興による利益はこれに娼妓に有利に接配せしめんとす。二、墮落沈淪の防止及保護 登録に當りては其の道程を嚴密調査し、いやしも其の間に不正なる徒輩の介入を無に留意するは勿論婦女の輕佻浮華を戒めその年齢に就ても一考しその賣淫婦に沈淪する機會を少なから

カキ貝御料理

カキフライ  
カキナベ  
カキカキ  
右之通り御案内申上ます

御料理一の井

電話一六七番

内科 小兒科 (入院應需)  
花柳病科  
藤沼醫院  
電話平町五〇七番

會社元詰 佛國マルソー 生葡萄酒  
マルソー・フランク・白 子 1.10  
マルソー・ルージュ・赤  
良品にして安價賣行飛ぶが如し  
西村屋藥局

首より上の化粧品と器具  
化粧店用バリカンと剃刀  
安全の及み器械及び皮砥  
白衣と鏡取揃えてあります  
經濟のクリーム・ポマード  
ハカリ賣 フケ取香水・純椿油  
平町土橋山崎合名會社向  
芳香園理髮器具店  
電話六八〇番

外科専門 X光線科  
上田外科醫院  
電話一二九番

平新川町十九 木村病院  
電話一六四  
産科 院長 木村寅次郎  
婦人科 女醫 木村コウ  
内臓外科 醫學士 松永憲一  
整形外科 醫學士 萩原駿二  
藥局 東京藥學士 萩原駿二

平看護婦會  
會長 清野キヨ  
平町字南町(電話三〇七番)  
看護婦派出の需めに應じます

胃腸病 肺病、肥り度い人婦人病  
冷え症、慢性諸病に特效  
醫學博士廿名推獎  
專賣 ラヂウム温灸器  
特許  
説明書進呈 定 特大 金十三圓  
一 特小 一圓拾圓  
福島縣平町五ノ廿八  
志賀齒科醫院  
福島縣平町白銀町九  
關口悦子

專門 内科一般  
内科ハ何デモ診療致マス  
呼吸器病バカリデハアリマセン  
平町南町六五改(電話一八一番)  
川井内科診療所  
醫學士 川井重子  
醫學士 川井安子

平町田町(電話五二三番) 高久病院  
醫學士 高久忠  
新得醫學士 赤羽清雄  
藥劑士 佐竹菊雄  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科  
藥學博士 丹波敬三先生製藥指導  
醫學博士 豊島豊次郎先生動物試驗

咳止の 妙藥 オピール錠  
平町一丁目(電話四六二番)  
大平屋藥店